

令和3年度（2021年度）全国学力・学習状況調査の結果概要報告書

令和4年1月 斜里町教育委員会

1 はじめに

斜里町教育委員会では、文部科学省の調査目的を踏まえ全国学力・学習状況調査を実施しています。これまでの教科別問題の調査結果から、斜里町の児童生徒の学力は年度や教科によって異なりますが、全国・全道比で平均正答率が下回るものの概ね改善傾向にあります。しかし、その差が縮まらない、全国の正答数の少ない層と同じ層の割合が多い、家庭での学習時間が少ない、ゲームをする時間が長い等の課題も継続して残されています。

児童生徒一人ひとりに、「社会で自立し、よりよく生きていくために必要な確かな学力」を確実に身に付けさせるためには、学力向上を学校教育での重要な施策として位置づけ、学校・家庭・地域・教育委員会の四者が情報を共有しながら、解決策に継続して取り組んでいかなければならないと考えています。

尚、今年度は、知床ウトロ学校以外の学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応策により、全国の実施日より遅れての実施となりました。後日、国（文部科学省）から提供された結果では、町内全学校を合算したものではありませんでした。しかし、個々の学校の結果も提供されましたので、斜里町教育委員会で4校分を合算して、町全体の結果として報告することにいたしました。

2 調査の目的（文部科学省）

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

3 斜里町教育委員会の見解

- (1) 全国学力・学習状況調査結果をもとに斜里町の児童・生徒の状況を検証し、教育施策の改善に努めるために、毎年、平均正答率を大まかな数値傾向を用いて町議会やPTA関係者に説明・報告しています。
- (2) 児童・生徒質問紙調査の結果も主要項目の数値を公開しています。また、25年度からは「斜里町学力向上推進計画」においても調査結果と分析結果、今後の施策等を明らかにしています。
- (3) 調査目的や調査結果が学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえた上で、その指標となる児童・生徒の学力の実態を学校・家庭・地域・教育委員会それぞれが共有することで四者が一体となり、児童・生徒の教育環境や学校改善につなげていかなければなりません。

- (4) そのために、これまで公表している調査結果の大まかな傾向に加え、斜里町の教科別平均正答率を数値で明らかにするとともに、分析結果、今後の改善策などもわかりやすくまとめて公表することによって、四者が一体となった取組が推進・強化され、町民の児童生徒の学習習慣や生活習慣についての意識も高まることになると考えています。
- (5) さらに、教育委員会から町民への説明責任を果たすことで、地域ぐるみの学力向上の取組が可能になると考えています。

4 公表の方法

- (1) 文部科学省からの結果公表後、直近の定例議会町政報告で町長から「大まかな数値」を用いて概要を報告します。
- (2) 斜里町の平均正答率と児童・生徒質問紙調査の主な項目の数値及び分析結果を「結果概要報告書」として、教育委員会が町 HP に公表します。また、生涯学習だより「おじろ通信」などでも概要を公表します。
- (3) 北海道教育委員会から公表要請のある平均正答率の数値を含む市町村結果について「結果概要」の範囲で情報提供(同意)します。

5 調査の概要

- (1) 実施期日 令和3年5月27日(木) 知床ウトロ学校
6月 8日(火) 斜里小学校・朝日小学校
6月 9日(水) 斜里中学校
- (2) 参加状況 町立小学校2校 町立中学校1校 町立義務教育学校1校
小学校、義務教育学校前期課程の第6学年の児童 77名
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年の生徒 89名
- (3) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)の出題範囲・内容
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおり
- ①身につけておかなければ、後の以降の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等にかかわる内容
- ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問う問題を出題
- (4) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査で、例えば、国語・算数・数学・英語への興味関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況等を問う。
小学校、義務教育学校前期課程6年生は児童質問紙、中学校3年生、義務教育学校後期課程9年生は生徒質問紙として実施し、小学校、中学校共に69項目の質問で、該当する項目(番号)を選択してマークシート方式での回答をする

6 調査結果の概要

(1) 総 評

◇ 斜里町の学力向上の基本的な考え方は、正答数の少ない層の割合を下げることで底上げを図り、全体としての学力傾向を示す平均正答率が向上することをめざすことです。

このことを踏まえ、令和3年度は、以下の総括目標を掲げながら取り組んできました。

令和3年度学力向上に関する総括目標(斜里町学力向上推進計画Ⅰ)

- ① 学力が十分身につけていない層への学習サポート等の取組を重点に行い、令和3年度全国学力学習状況調査において、「全国正答数の少ない層」と同じ層が、全ての教科で全道を下回り、全国比との差を5.0以下にする。
- ② 令和3年度全国学力・学習状況調査の平均正答率において、全ての教科で全道を上回り、全国との差を5.0以下にする。

(2) 令和3年度学力向上推進計画Ⅰの総括目標①について

「全国正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童生徒の割合が、全ての教科で全道を上回り、全国との差では、全ての教科で5.0以上になりました。これらのことから、総括目標①を達成することはできませんでした。

「全国正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童生徒の割合について

※「全国正答数の少ない層」とは、全国の平均正答率で下位のおよそ25%相当に含まれる正答問題数を基準として、その基準内に含まれる児童・生徒の割合を示したものです。(単位：%)

小学校・義務教育学校前期課程6年生の状況 (単位：%)

	国語(知識・活用)	算数(知識・活用)
全 国	20.9 【H31(R1)30.7】	21.6 【H31(R1)26.7】
	6問/14問	8問/16問
全 道	22.2 【(R元32.5)】	25.3 【(R元30.1)】
斜 里 町	32.5 (R元38.6)	31.2 (R元36.0)
全国との差 (町－国)	11.6 ↑	9.6 ↑
全道との差 (町－道)	10.3 ↑	5.9 ↑
R元斜里町とR3斜里町との差	6.1 ↓	4.8 ↓

⇒全国との比較では、国語で11.6、算数で9.6、全道との比較では、国語で10.3、算数で5.9上回りました。しかし、令和元年度の斜里町と比較すると国語で6.1、算数で4.8下回り、改善が見られました。

中学校3年生・義務教育学校後期課程9年生の状況 (単位：%)

	国語(知識・活用)	数学(知識・活用)
全 国	18.6 (R元 31.3)	18.6 (R元 26.1)
	6問/14問	5問/16問
全 道	18.3 (R元 32.4)	20.3 (R元 27.8)
斜 里 町	26.0 (R元 42.6)	38.1 (R元 47.2)
全国との差 (町－国)	7.4 ↑	19.5 ↑
全道との差 (町－道)	7.7 ↑	17.8 ↑
R元斜里町と R3斜里町との差	16.6 ↓	8.1 ↓

⇒全国との比較では、国語で7.4、数学で19.5、全道との比較では、国語で7.7、数学で17.8、上回る結果となりました。しかし、令和元年度の斜里町と比較すると国語で16.6、算数で8.1下回り、改善が見られました。

※学校は、調査・分析結果を共有し、ICT機器を活用しながら授業改善を進めるとともに、家庭学習の習慣化や学習内容の定着状況に応じた学び直し等を実施して、「全国の正答数の少ない層」と同じ層の減少を実現していく必要があります。

(3) 令和3年度 学力向上に関する総括目標②について

平均正答率で、小学校・中学校共に全教科で全道を下回りました。また、小学校・中学校共に全教科で、全国との差が5.0以上になりました。

これらのことから、総括目標②を達成することはできませんでした。

教科別平均正答率について

小学校・義務教育学校前期課程6年生の状況 (単位：%)

	国語(知識・活用)	算数(知識・活用)
全 国	64.7 (R元 63.8)	70.2 (R元 66.6)
全 道	63.0 (R元 62.8)	67.5 (R元 64.5)
斜 里 町	56.5 (R元 58.6)	63.3 (R元 60.0)
全国との差(町－国)	8.2 ↓	6.9 ↓
全道との差(町－道)	6.5 ↓	4.2 ↓
R元(H31)全国との差	5.2 ↓	6.6 ↓
R元(H31)全道との差	4.2 ↓	4.5 ↓

⇒令和3年度は、全国との比較では、国語で8.2、算数で6.9下回りました。また、全道との比

較では、国語で6.5、算数で4.2下回りました。R元年度の国語では、全国との比較で3.0、全道との比較で2.3差が広がりました。また、算数では、全国との比較で0.3差が広がり、全道との比較で0.3差が縮まりました。

中学校3年生・義務教育学校後期課程9年生の状況（単位：％）

	国語(知識・活用)	数学(知識・活用)	2教科平均
全 国	64.6 (R元72.8)	57.2 (R元59.8)	60.9
全 道	64.5 (R元72.1)	55.9 (R元58.1)	60.2
斜 里 町	61.7 (R元63.8)	46.9 (R元46.8)	54.3
全国との差	-2.9	-10.3	-6.6
全道との差	-2.8	-9.0	-5.9
R元(H31)全国との差	-9.0	-13.0	-11.1
R元(H31)全道との差	-8.3	-11.3	-9.7

⇒令和3年度は、全国との比較では、国語で2.9、数学で10.3、下回りました。また、全道との比較では、国語で2.8、数学で9.0、下回りました。R元年度の国語では、全国との比較で6.1、全道との比較で5.5差が縮まりました。また、数学では、全国との比較で2.7、全道との比較で2.3差が縮まりました。

※令和3年度の結果と斜里町の学力向上に関する総括目標を達成できなかったことを、教育委員会としても真摯に受け止めなければなりません。今後、教育課程検討委員会等と連携し、令和4年度斜里町学力向上に関わる総括目標を設定するとともに、引き続き実効性のある学力向上施策を推進してまいります。各学校においては、調査結果を多面的に分析し、ICT 機器を有効に活用しながら「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を進めるとともに、児童・生徒の学習意欲を高め、個の学びに応じた学習サポート、家庭学習の習慣化を図ることが必要です。さらに、家庭や地域と連携した生活習慣・読書習慣等の改善・充実等を内容とする学校改善プラン(学力向上)を作成し、実行することも大切です。

(4) 問題形式(選択式・短答式・記述式)について

【小学校国語 記述式問題の正答率・無解答率】

問題番号		正答率(%)	無解答率(%)	備 考
2 三	斜里町	27.3	1.3	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	32.0	4.4	
	全 国	34.4	4.1	
2 四	斜里町	14.3	1.3	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	27.4	5.8	
	全 国	29.7	5.5	

3 二	斜里町	5 1. 9	7. 8	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	5 5. 6	9. 9	
	全 国	5 6. 6	9. 6	

○正答率と無解答率の平均

	正答率(%)	無解答率(%)	備 考
斜里町	3 1. 2	3. 3	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
全 道	3 8. 3	6. 7	
全 国	4 0. 2	6. 4	

【小学校算数 記述式問題の正答率・無解答率】

問題番号		正答率(%)	無解答率(%)	備 考
1 (1)	斜里町	5 7. 1	0. 0	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	5 7. 8	2. 0	
	全 国	6 2. 5	1. 7	
2 (3)	斜里町	3 1. 2	0. 0	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	4 3. 6	5. 4	
	全 国	4 6. 0	4. 6	
3 (4)	斜里町	5 7. 1	5. 2	全国・全道と比較して、正答率で上回り、無解答率で下回りました。
	全 道	4 9. 8	1 1. 8	
	全 国	5 2. 0	1 0. 3	
4 (3)	斜里町	4 5. 5	3. 9	全国・全道と比較して、正答率と無解答率ともに下回りました。
	全 道	4 6. 7	1 2. 4	
	全 国	5 1. 5	1 0. 3	

○正答率と無解答率の平均

	正答率(%)	無解答率(%)	備 考
斜里町	4 7. 7	2. 4	全国・全道と比較して、正答率、無解答率ともに下回りました。
全 道	4 9. 5	7. 9	
全 国	5 3. 0	6. 7	

各教科の論理的な思考力・表現力等の総合的な力が試される記述式問題では、小学校国語で、全道・全国と比べると正答率の平均では、7. 1%・9. 0%下回り、無解答率の平均では3. 4%・3. 1%下回りました。算数では、全道・全国と比べると正答率の平均では、1. 8%・5. 3%下回り、無解答率の平均では5. 5%・4. 3%下回りました。国語・算数ともに無解答率が全道・全国を下回ったことから、粘り強く解答に取り組んだというよい傾向が見られました。

【中学校国語 記述式問題の正答率・無解答率】

問題番号		正答率(%)	無解答率(%)	備 考
1三	斜里町	48.3	4.5	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	56.6	3.3	
	全 国	57.1	3.4	
2二	斜里町	66.3	7.9	全国・全道と比較して、正答率、無解答率で下回りました。
	全 道	73.7	9.3	
	全 国	74.5	8.5	
3四	斜里町	13.5	29.2	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	18.4	24.8	
	全 国	20.5	24.1	
4四	斜里町	70.8	14.6	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	72.5	10.3	
	全 国	71.9	9.7	

○正答率と無解答率の平均

	正答率(%)	無解答率(%)	備 考
斜里町	49.8	14.1	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
全 道	55.3	11.9	
全 国	56.0	11.4	

【中学校数学 記述式問題の正答率・無解答率】

問題番号		正答率(%)	無解答率(%)	備 考
6(2)	斜里町	38.2	32.6	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	58.4	17.9	
	全 国	61.8	15.4	
6(3)	斜里町	20.2	44.9	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	30.1	31.2	
	全 国	30.3	29.9	
7(2)	斜里町	19.1	37.1	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	27.3	24.9	
	全 国	27.7	24.7	
8(3)	斜里町	5.6	52.8	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	8.9	35.8	
	全 国	11.1	32.2	
9(1)	斜里町	27.0	10.1	全国・全道と比較して、正答率で下回り、無解答率で上回りました。
	全 道	42.7	4.7	
	全 国	44.3	3.6	

○正答率と無解答率の平均

	正答率(%)	無解答率(%)	備 考
斜里町	22.0	35.5	全国・全道と比較して、正答率で下回り、 無解答率で上回りました。
全 道	33.5	22.9	
全 国	35.0	21.2	

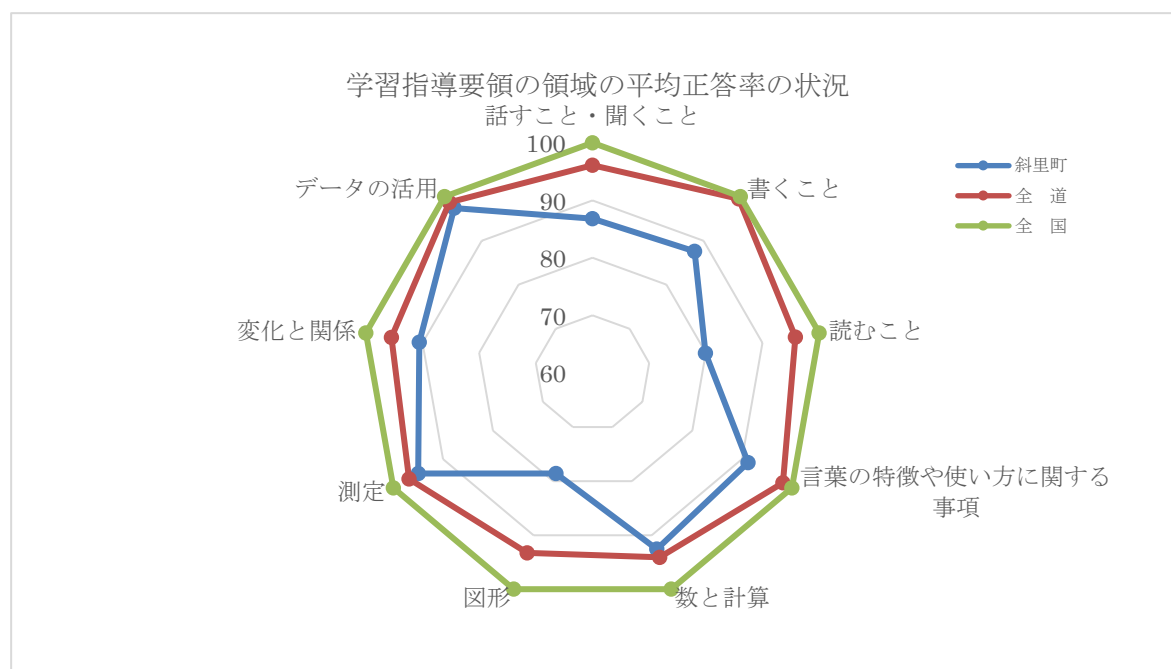
中学校国語では、全道・全国と比べると正答率の平均では、5.5%・6.2%下回り、無解答率の平均では2.2%・2.7%上回りました。数学では、全国・全道と比べると正答率の平均では11.5%・13.0%下回り、無解答率の平均では、12.6%・14.3%上回りました。

各教科ともに、数学での記述式問題の正答率が低く、無回答率が高かったことから、苦手意識が見られました。

(5) 教科全体の状況

ア 小学校・義務教育学校前期課程6年生

※下のグラフは全国の領域別の平均正答率を100として、北海道及び斜里町とを比較したものです。



(ア) 国語の領域ごとの平均正答率では、全道・全国と比較して、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと・言葉の特徴や使い方に関する事項の全領域で下回りました。特に読むことは80%以下と低くなりました。(%)

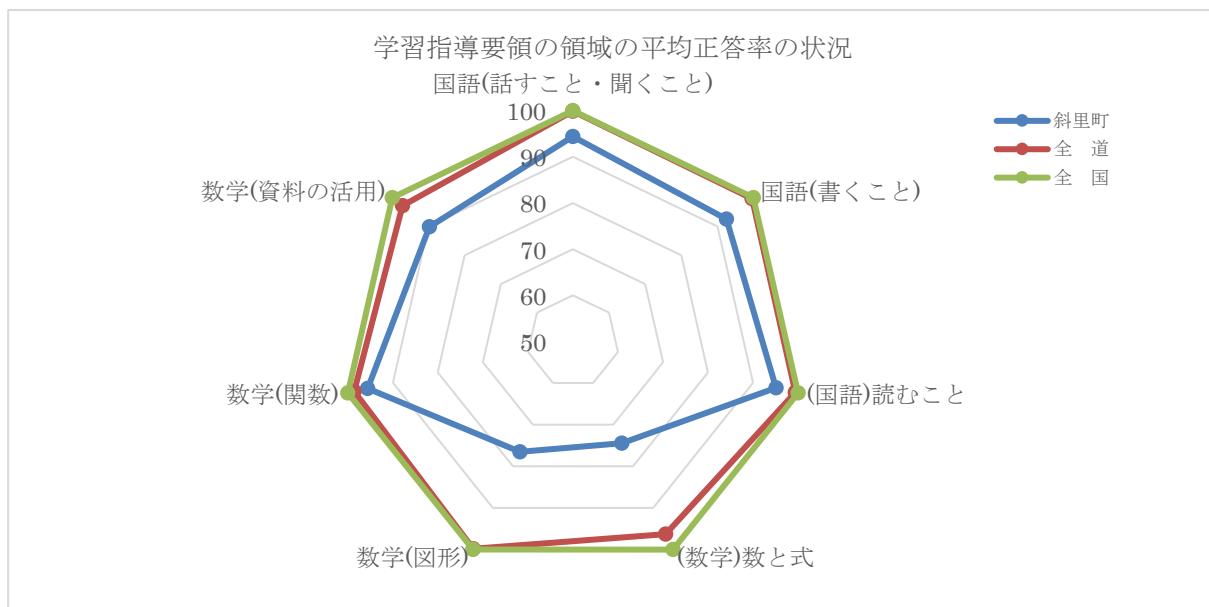
学習指導要領の領域等(平均正答率%)	斜里町	全 道	全 国
話すこと・聞くこと	67.5 (86.8)	75.4 (96.1)	77.8 (100)
書くこと	53.2 (87.6)	60.4 (99.5)	60.7 (100)
読むこと	37.7 (79.9)	45.2 (95.8)	47.2 (100)
言葉の特徴や使い方に関する事項	62.3 (91.2)	67.1 (98.2)	68.3 (100)

(イ) 算数の領域ごとの平均正答率では、全道・全国と比較して、数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用の全領域で下回りました。特に、図形は80%以下と低くなりました。(%)

学習指導要領の領域等(平均正答率%)	斜里町	全道	全国
数と計算	58.4 (92.6)	59.4 (94.1)	63.1 (100)
図形	45.5 (78.6)	54.0 (93.3)	57.9 (100)
測定	68.8 (95.0)	72.4 (96.8)	74.8 (100)
変化と関係	68.8 (90.6)	72.5 (95.5)	75.9 (100)
データの活用	74.0 (97.4)	75.0 (98.7)	76.0 (100)

イ 中学校3年生・義務教育学校後期課程9年生

※下のグラフは全国の領域別の平均正答率を100として、北海道及び斜里町とを比較したものです。



ア 国語の領域ごとの正答率では全国・全道と比較して、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の全領域で下回りました。書くことが92.5でやや低くなりました。(%)

学習指導要領の領域等(平均正答率%)	斜里町	全道	全国
話すこと・聞くこと	75.3 (94.4)	79.7 (99.9)	79.8 (100)
書くこと	52.8 (92.5)	56.9 (99.6)	57.1 (100)
読むこと	46.1 (95.1)	48.2 (99.4)	48.5 (100)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.0 (97.2)	75.2 (100.1)	75.1 (100)

イ 数学の領域ごとの正答率では全国・全道と比較して、数と式、図形、関数、資料の活用の全領域で下回りました。特に、数と式・図形で80%以下と低くなりました。また、図形は、小学校と同じく低くなりました。

(%)

学習指導要領の領域等(平均正答率%)	斜里町	全 道	全 国
数と式	48.3 (74.4)	62.5 (96.3)	64.9 (100)
図形	39.3 (76.5)	51.3 (99.8)	51.4 (100)
関数	53.9 (95.6)	55.6 (98.6)	56.4 (100)
資料の活用	48.3 (89.8)	52.3 (97.2)	53.8 (100)

(6) 児童・生徒質問紙調査の結果

ア 児童質問紙（小学校・義務教育学校6年生）

(ア) 基本的な生活習慣等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
1	(1) 朝食を毎日食べている	1 している	町 86.1		H30 90.4
		2 どちらかといえば、 している	道 93.7	-7.6	R元 94.7
			国 94.9	-8.8	R2 94.0
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝 ている	1 している	町 82.3		H30 79.8
		2 どちらかといえば、 している	道 81.4	0.9	R元 84.0
			国 81.2	1.1	R2 85.2
	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起 きている	1 している	町 84.8		H30 89.4
		2 どちらかといえば、 している	道 89.9	-5.1	R元 90.7
			国 90.4	-5.6	R2 91.1
	(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピ ュータの使い方について、家の人と約束 したことを守っているか	1 きちんと守っている	町 64.6		H30
		2 だいたい守っている	道 70.7	-6.1	R元
			国 70.1	-5.5	R2 39.6
	(5) 普段（月～金）1日どれくらいの時間テレビゲ ーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム、ス マートフォン等を使うゲームを含む）をするか	1 4時間以上	町 63.3		H30
		2 3時間以上、4時間より少ない	道 56.0	7.3	R元
		3 2時間以上、3時間より少ない	国 49.4	13.9	R2 56.4

- (4) 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。しかし、令和2年の町を25%上回りました。
- (5) 「普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム、スマートフォン等を使うゲームを含む）をするか」への2時間以上の回答が、道・国、令和2年の町を大きく上回りました。

携帯電話等の使い方のきまりを守るのが低いことと1日当たりのゲームをする時間が長いことが、課題です。学校と家庭とが連携して解決する必要があります。

(イ) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
2	(6) 自分には、よいところがあると思う	1 当てはまる	町 77.2		H30 84.1
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 72.6	4.6	R元 68.0
			国 76.9	0.3	R2 66.3
	(7) 将来の夢や目標を持っている	1 当てはまる	町 83.5		H30 70.3
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 79.0	4.5	R元 81.3
			国 80.3	3.2	R2 70.3
	(8) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	1 当てはまる	町 92.4		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 83.9	8.5	R元
			国 84.3	8.1	R2
	(9) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している	1 当てはまる	町 79.7		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 69.3	10.4	R元 70.7
			国 70.9	8.8	R2 71.3
	(10) 人が困っているときは、進んで助けている	1 当てはまる	町 84.8		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 88.8	-4.0	R元 88.8
			国 88.7	-3.9	R2 85.2
	(11) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	1 当てはまる	町 96.2		H30 96.8
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 97.1	-0.9	R元 98.7
			国 96.8	-0.6	R2 97.0
	(12) 人の役に立つ人間になりたいと思う	1 当てはまる	町 96.2		H30 94.7
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 95.3	0.9	R元 94.7
			国 95.5	0.7	R2 96.0
	(13) 学校に行くのは楽しいと思う	1 当てはまる	町 88.6		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 82.1	6.5	R元
			国 83.4	5.2	R2
	(14) 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる	1 当てはまる	町 78.5		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 67.7	10.8	R元
			国 70.3	8.2	R2
	(15) 自分と違う意見について考えるのは楽しい	1 当てはまる	町 78.5		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 69.2	9.3	R元
			国 70.1	8.4	R2
	(16) 友達と協力するのは楽しい	1 当てはまる	町 93.7		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 93.8	-0.1	R元
			国 93.9	-0.2	R2

○ (10) (11) (16) 以外の質問内容への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

● (10) 「人が困っているときは、進んで助けている」(11) 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」(16) 「友達と協力するのは楽しい」への肯定的な回答が、道・国をや

や下回りました。

特別の教科 道徳での「主として人とかかわりに関すること」「主として集団や社会とかかわりに関すること」の学習、全教育活動での道徳教育、生徒指導の在り方、学級経営等を見直すことが大切です。

(ウ) 学習習慣等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
3	(17) 家で計画を立てて勉強しているか(学校の授業の予習や復習を含む)	1 よくしている	町 82.3		H30 52.1
		2 とときどきしている	道 78.9	3.4	R元 58.7
			国 74.0	8.3	R2 65.3
	(18) 授業時間以外に、普段(月～金)どれくらい勉強するか(学習塾・家庭教師との学習・インターネット活用等を含む)	1 3時間以上	町 51.9		H30 46.7
		2 2時間以上、3時間より少ない	道 58.3	-6.4	R元 42.6
		3 1時間以上、2時間より少ない	国 62.5	-10.6	R2 38.6
	(19) 土日等、学校が休みの日にどれくらい勉強するか(学習塾・家庭教師との学習・インターネット活用等を含む)	1 4時間以上	町 30.4		H30
		2 3時間以上、4時間より少ない	道 24.1	6.3	R元
		3 2時間以上、3時間より少ない	国 29.7	0.7	R2 22.9
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	1 教わっていない	町 59.5		H30
			道 63.4	-3.9	R元
			国 52.6	6.9	R2 63.3
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている	町 21.5		H30
			道 16.9	4.6	R元
			国 25.7	-4.2	R2 15.8
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	3 学校の勉強でよくわからなかった内容を教わっている	町 5.1		H30
			道 4.9	0.2	R元
			国 5.6	-0.5	R2 7.0
	(21) 授業時間以外に、普段(月～金)どれくらい読書するか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	1 2時間以上	町 36.7		H30
		2 1時間以上、2時間より少ない	道 35.2	1.5	R元
		3 30分以上、1時間より少ない	国 37.4	-0.7	R2 40.7
	(22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	1 0～10冊	町 59.5		H30
		2 11～25冊	道 62.0	-2.5	R元
		3 26～100冊	国 63.7	-4.2	R2
	(22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	1 101～200冊	町 40.5		H30
		2 201～500冊	道 38.0	2.5	R元
		3 501冊以上	国 36.3	4.2	R2
	(23) 新聞を読んでいますか	1 ほぼ毎日読んでいる	町 16.5		H30
		2 週に1～3回程度読んでいる	道 15.0	1.5	R元
			国 14.8	1.7	R2 13.0

	(23)	新聞を読んでいますか	4 ほとんど、または、 全く読まない	町 58.2		H30
				道 69.4	-11.2	R元
				国 70.4	-12.2	R2 70.2

- (18)「授業時間以外に、普段（月～金）どれくらい勉強するか（学習塾・家庭教師との学習・インターネット活用等を含む）」への1時間以上が、道・国を下回りましたが、令和2年の町を13.3%上回りました。

- (23)「新聞を読んでいますか」への「ほとんどまたは全く読まない」が、道・国を大きく下回りました。

学校以外での普段の勉強時間が1時間以上と回答した児童の割合が道・国を下回ったことから、家庭での学習習慣を一層定着させることが課題です。斜里町教育課程検討委員会では、お手本となる家庭学習ノートを各学校から集め、学校間で回覧をする工夫をしています。復習や予習をすることで学習効果が高まることから、定着を図ることは大切です。

(エ) 地域や社会に関わる活動の状況等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
4	(24)	1 当てはまる	町 70.9		H30 63.8
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 52.9	18.0	R元 72.0
			国 58.1	12.8	R2 75.2
	(25)	1 当てはまる	町 73.4		H30 47.8
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 51.0	22.4	R元 57.4
			国 52.4	21.6	R2 50.5

- (24)「今住んでいる地域の行事に参加している」(25)「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。

今年度も、子どもたちと地域との深いかかわりが、継続していることがわかります。地域や社会をよくするために何をすべきか考えている子どもたちがたくさんいました。

(オ) ICT機器を活用した学習状況

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
5	(26)	1 ほぼ毎日	町 19.0		H30
			道 12.0	7.0	R元 73.3
			国 11.2	7.8	R2 26.8
	(26)	2 週1回以上	町 45.6		H30
			道 27.3	18.3	R元 28.7
			国 28.9	16.7	R2 28.7
	(26)	3 月1回以上	町 34.2		H30
			道 38.4	-4.2	R元 64.0
			国 34.9	-0.7	R2 66.2

	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	1 ほぼ毎日	町	27.8		H30
				道	15.2	12.6	R元
				国	10.0	17.8	R2
	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	2 週1回以上	町	60.8		H30
				道	31.0	29.8	R元
				国	29.0	31.8	R2
	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	3 月1回以上	町	7.6		H30
				道	27.7	-20.1	R元
				国	26.0	-18.4	R2
	(28)	学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか	1 役に立つと思う 2 どちらかといえば、役に立つと思う	町	98.7		H30
				道	95.6	3.1	R元
				国	94.5	4.2	R2
	(29)	普段（月～金）どれくらいの時間スマートフォンやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使っていますか	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない	町	36.7		H30
				道	20.1	16.6	R元
				国	19.9	16.8	R2 14.0
	(29)	普段（月～金）どれくらいの時間スマートフォンやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使っていますか	6 全く使っていない	町	8.9		H30
				道	20.2	-11.3	R元
				国	20.0	-11.1	R2 26.7
	(30)	家でどれくらい日本語を話していますか	1 いつも話している 2 ほとんどいつも話している	町	100.0		H30
				道	97.1	2.9	R元
				国	96.9	3.1	R2

- (26) 「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」への「ほぼ毎日」の回答が、道・国を上回りました。
- (27) 「学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか」への「ほぼ毎日」の回答が、道・国を大きく上回りました。
- (28) 「学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。
- (29) 「普段（月～金）どれくらいの時間スマートフォンやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使っていますか」への「1時間以上」が、道・国を大きく上回りました。

学校は、ICT機器を活用した学習指導の在り方を研修をととして学び授業で生かすなど、積極的に取り組んできています。

(カ) 主体的・対話的で深い学びの状況等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率(%)	道・国との比較	町経年変化
6	(31)	1 伝えていた	町 96.2		H30
		2 どちらかといえば、伝えていた	道 82.9	13.3	R元
			国 82.6	13.6	R2 85.1

	(32)	授業で自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表したか	1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた	町 83.5 道 82.9 国 82.6	 0.6 0.9	H30 R元 R2 65.3
	(33)	授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 87.3 道 78.7 国 78.2	 8.6 9.1	H30 R元 R2
	(34)	授業では、各教科等で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり思いや考えを基に新しいものを創り出したりする活動を行っていたか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 79.7 道 65.7 国 67.2	 14.0 12.5	H30 R元 R2
	(35)	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 92.4 道 82.0 国 81.4	 10.4 11.0	H30 R元 R2
	(36)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 98.7 道 95.2 国 95.5	 3.5 3.2	H30 R元 R2 94.1
	(37)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 91.1 道 78.8 国 78.8	 12.3 12.3	H30 R元 70.7 R2 71.2
	(38)	発見した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 70.8 道 77.4 国 78.3	 -6.6 -7.5	H30 R元 R2

- (31) 「話し合う活動では、話し合う内容を理解し相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じ、違うところ）を受け止め自分の考えをしっかりと伝えたか」への肯定的な回答が道・国を大きく上回りました。
- (33) 「授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。
- (34) 「授業では、各教科等で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり思いや考えを基に新しいものを創り出したりする活動を行っていた」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。
- (35) 「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。
- (37) 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。
- (38) 「発見した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

学校は、話しあったり、伝えあったり、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだり、自分の考えを広げたり、深めたりする学習活動を積極的に進めてきています。

(キ) 総合的な学習の時間・学級活動・道徳の授業における学習活動や話し合いについて

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
7	(39)	1 当てはまる	町 82.3		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 74.9 国 73.0	7.4 9.3	R元 76.6 R2 72.2
	(40)	1 当てはまる	町 91.1		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 70.9 国 73.4	20.2 17.7	R元 76.0 R2 70.3
	(41)	1 当てはまる	町 84.8		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 72.6 国 73.5	12.2 11.3	R元 72.0 R2 78.2
	(42)	1 当てはまる	町 93.7		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 80.9 国 81.1	12.8 12.6	R元 72.0 R2 72.2

- (39) 「総合的な学習の時間では自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。
- (40) 「あなたの学級では学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。
- (41) 「学習活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。
- (42) 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。

学校は、話し合いや調べたことを発表する活動に積極的に取り組んでいます。

(ク) 学習に対する興味・関心や授業の理解度 (国語)

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
8	(43)	1 当てはまる	町 56.0		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 58.7 国 58.4	-2.7 -2.4	R元 65.4 R2 52.4
	(44)	1 当てはまる	町 94.9		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	町 93.8 国 93.2	1.1 1.7	R元 97.3 R2 91.0
	(45)	1 当てはまる	町 86.1		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 84.9 国 84.2	1.2 1.9	R元 84.0 R2 86.1
	(46)	1 当てはまる	町 93.7		H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 92.0 国 91.8	1.7 1.9	R元 86.6 R2 87.1

	(47)	国語の授業では言葉の特徴や使い 方についての知識を理解したり使 ったりしている	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 91.1		H30	
				道 81.2	9.9	R元	
				国 82.2	8.9	R2	62.3
	(48)	国語の授業では目的に応じて自分 の考えを話したり必要に応じて質 問したりしている	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 82.3		H30	
				道 63.4	18.9	R元	77.3
				国 63.8	18.5	R2	59.4
	(49)	国語の授業では目的に応じて自分の考えと それを支える理由との関係がわかるように 書いたり表現を工夫して書いたりしている	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 88.6		H30	
				道 70.9	17.7	R元	60.0
				国 71.6	17.0	R2	63.3
	(50)	国語の授業では目的に応じて文章 を読み感想や考えを持ったり自分 の考えを広げたりしている	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 87.3		H30	
				道 74.3	13.0	R元	
				国 74.3	13.0	R2	73.2
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で 書く問題がありました。それらの問題 についてどのように解答しましたか。	1 全ての書く問題で最 後まで書こうと努力し た	町 93.7		H30	59.6
				道 81.3	12.4	R元	78.7
				国 81.3	12.4	R2	81.0
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で 書く問題がありました。それらの問題 についてどのように解答しましたか。	2 書く問題で回答しなかったり、 解答を書くことを途中であき らめたりしたものがあった	町 5.1		H30	
				道 16.4	-11.3	R元	21.3
				国 16.2	-11.1	R2	17.0
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で 書く問題がありました。それらの問題 についてどのように解答しましたか。	3 書く問題は全く解答 しなかった	町 1.2		H30	
				道 1.8	-0.6	R元	0.0
				国 1.8	-0.6	R2	2.0

○ (44) 「国語の勉強は大切だ」(45) 「国語の授業の内容はよくわかる」(46) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」への肯定的な回答が、道・国をやや上回りました。

● (43) 「国語の勉強は好きだ」への肯定的な回答が、道・国をやや下回りました。

○ (48) 「国語の授業では目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」(49) 「国語の授業では目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係がわかるように書いたり表現を工夫して書いたりしている」(50) 「国語の授業では目的に応じて文章を読み感想や考えを持ったり自分の考えを広げたりしている」への肯定的な回答が、道・国を大きく上回りました。

○ (51) 「今回の国語の問題では解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」への「全ての書く問題で最後まで書こうと努力した」が道・国を大きく上回りました。

「国語の勉強が好きだ」で、肯定的な回答が道・国を下回りました。興味・関心を高め、国語の学習が、一層楽しく感じられる授業づくりを考えてみる必要があります。

(ケ) 学習に対する興味・関心や授業の理解度 (算数)

質問番号		質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化	
9	(52)	算数の勉強は好きだ	1 当てはまる	町 77.2		H30	61.7
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 65.0	12.2	R元	68.0
				国 67.8	9.4	R2	64.3
	(53)	算数の勉強は大切だ	1 当てはまる	町 93.7		H30	89.3
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 93.5	0.2	R元	93.3
				国 93.8	-0.1	R2	91.0
	(54)	算数の授業の内容はよくわかる	1 当てはまる	町 92.4		H30	84.0
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 82.8	9.6	R元	78.6
				国 84.6	7.8	R2	83.1
	(55)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	1 当てはまる	町 94.9		H30	94.6
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 92.1	2.8	R元	96.0
				国 92.6	2.3	R2	93.1
	(56)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	1 当てはまる	町 77.2		H30	9.1
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 71.7	5.5	R元	78.7
				国 72.9	4.3	R2	70.3
	(57)	算数の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考える	1 当てはまる	町 92.4		H30	82.0
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 81.6	10.8	R元	84.0
				国 82.7	9.7	R2	84.1
	(58)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしているか	1 そうしている	町 93.7		H30	80.9
			2 どちらかといえば、 そうしている	道 89.6	4.1	R元	85.3
				国 89.0	4.7	R2	85.1
	(59)	算数の授業で問題の解き方や考えが分かるようにノートに書いていますか	1 書いている	町 93.7		H30	87.3
			2 どちらかといえば、 書いている	道 91.9	1.8	R元	92.0
				国 91.9	1.8	R2	72.2
(60)	今回の算数の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	1 全ての書く問題で最後まで書こうと努力した	町 88.6		H30	59.6	
			道 78.0	10.6	R元	78.7	
			国 79.9	8.7	R2	81.0	
(60)	今回の算数の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	2 書く問題で回答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった	町 10.1		H30	0.0	
			道 19.8	-9.7	R元	21.3	
			国 17.9	-7.8	R2	17.0	
(60)	今回の算数の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	3 書く問題は全く解答しなかった	町 0.0		H30	0.0	
			道 1.6	-1.6	R元	0.0	
			国 1.5	-1.5	R2	2.0	

○ (52) 「算数の勉強は好きだ」(54)「算数の授業の内容はよくわかる」(55)「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

多くの質問への肯定的な回答が道・国を上回りました。この傾向を持続することが大切です。

(コ) 学習に対する興味・関心や授業の理解度 (英語)

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
10	(61)	英語の勉強は好きだ	1 当てはまる	町 77.2	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 69.1	8.1	R元
			国 68.3	8.9	R2 65.3
	(62)	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていたか	1 当てはまる	町 82.3	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 75.1	7.2	R元
			国 74.6	7.7	R2 62.3
	(63)	これまで学校の授業以外で英語を使う機会があったか (地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙やメールを書く、英語のホームページを見る、英会話教室に通う等)	1 当てはまる	町 51.9	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 41.0	10.9	R元
			国 44.4	6.5	R2 40.6

- (61)「英語の勉強は好きだ」(62)「5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていたか」(63)「これまで学校の授業以外で英語を使う機会があったか (地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙やメールを書く、英語のホームページを見る、英会話教室に通う等)」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

多くの質問への肯定的な回答が道・国を上回りました。よい傾向を持続することが大切です。

(サ) 令和2年の4から5月頃 (新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた時期) について

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
11	(64)	勉強について不安を感じた	1 当てはまる	町 73.4	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 59.4	14.0	R元
			国 55.2	18.2	R2
	(65)	計画的に学習を続けることができたか	1 当てはまる	町 63.3	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 62.4	0.9	R元
			国 64.6	-1.3	R2
	(66)	規則正しい生活を送っていたか	1 当てはまる	町 51.9	H30
		2 どちらかといえば、 当てはまる	道 59.9	-8.0	R元
			国 63.1	-11.2	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	1 先生に聞いた	町 16.5	H30
			道 9.2	7.3	R元
			国 9.2	7.3	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	2 友達に聞いた	町 30.4	H30
			道 29.8	0.6	R元
			国 31.9	-1.5	R2

	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	3 家族に聞いた	町 77.2		H30
				道 79.9	-2.7	R元
				国 78.8	-1.6	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	4 先生、友達、家族以外のの人に聞いた	町 10.1		H30
				道 9.0	1.1	R元
				国 9.4	0.7	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	5 自分で調べた	町 60.8		H30
				道 66.9	-6.1	R元
				国 62.4	-1.6	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	6 分からないことをそのままにした	町 5.1		H30
				道 9.3	-4.2	R元
				国 10.1	-5.0	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	7 分からなかったことがなかった	町 3.8		H30
				道 7.7	-3.9	R元
				国 10.3	-6.5	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	8 思い出せない	町 1.3		H30
				道 5.2	-3.9	R元
				国 4.9	-3.6	R2

- (64)「勉強について不安を感じた」への「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」の回答が、道・国を大きく上回りました。
- (66)「規則正しい生活を送っていたか」への「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」の回答が、道・国を大きく下回りました。

休校期間中、勉強への不安が大きかった児童が多くいました。また、規則正しい生活を送ることができた児童が少なかったことが分かりました。一人一台端末を活用するなど、子ども達の勉強への不安が起きないようにすることが大切です。

(シ) 各教科の解答時間の適切性（国語・算数）

質問番号		質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
12	(68)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 国語（４５分）	１ 時間が余った	町 83.5		H30
			２ ちょうどよかった	道 74.6	8.9	R元 70.7
				国 70.3	13.2	R2 92.0
	(68)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 国語（４５分）	３ やや足りなかった	町 16.4		H30
			４ 全く足りなかった	道 25.0	-8.6	R元 4.0
				国 29.2	-12.8	R2 0.0
	(69)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 算数（４５分）	１ 時間が余った	町 86.1		H30
			２ ちょうどよかった	道 80.1	6.1	R元 69.3
				国 81.7	4.4	R2 86.0
	(69)	調査問題の解答時間は十分	３ やや足りなかった	町 13.9		H30

	でしたか	4 全く足りなかった	道 19.6	-5.4	R元 5.3
	算数（４５分）		国 17.8	-3.9	R2 2.0

○（68）（69）「調査問題の解答時間は十分でしたか」への「時間が余った・ちょうどよかった」への回答が、道・国を上回りました。

調査問題の解答時間は、「余った・ちょうどよかった」との回答が多いことから、余った時間を活用して、細かな見直しをする習慣を定着させたいです。

ア 生徒質問紙（中学校３年生・義務教育学校９年生）

（ア） 基本的な生活習慣等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
1	(1) 朝食を毎日食べている	1 している	町 94.4		H30 94.2
		2 どちらかといえば、 している	道 91.7	2.7	R元 95.5
			国 92.8	1.6	R2 95.3
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝 ている	1 している	町 80.0		H30 84.7
		2 どちらかといえば、 している	道 79.2	0.8	R元 74.2
			国 79.8	0.2	R2 82.2
	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起 きている	1 している	町 92.2		H30 94.1
		2 どちらかといえば、 している	道 92.4	-0.2	R元 94.4
			国 92.7	-0.5	R2 90.5
	(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピ ュータの使い方について、家の人と約束 したことを守っているか	1 きちんと守っている	町 62.2		H30
		2 だいたい守っている	道 68.1	-5.9	R元
			国 67.9	-5.7	R2 61.7
	(5) 普段（月～金）１日どれくらいの時間テレビゲ ーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム、ス マートフォン等を使うゲームを含む）をするか	1 ４時間以上	町 53.3		H30
		2 ３時間以上、４時間より少ない	道 39.4	13.9	R元
		3 ２時間以上、３時間より少ない	国 32.3	21.0	R2 38.3

- （4）「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。しかし、令和２年の町を２２．６％上回りました。
- （5）「普段（月～金）１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム、スマートフォン等を使うゲームを含む）をするか」への２時間以上の回答が、道・国を大きく上回りました。

携帯電話等の使い方のきまりを守る意識を高める必要があります。さらに、１日当たりのゲームをする時間の長さを解消し、学習や読書、家族との対話の時間に変えさせるよう、学校と家庭とが連携して解決にあたる必要があります。

(イ) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
2	(6) 自分には、よいところがあると思う	1 当てはまる	町 67.8		H30 81.1
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 74.5	-6.7	R元 67.4
			国 76.2	-8.4	R2 76.7
	(7) 将来の夢や目標を持っている	1 当てはまる	町 64.4		H30 77.7
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 67.3	-2.9	R元 65.2
			国 68.6	-4.2	R2 76.7
	(8) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	1 当てはまる	町 77.8		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 84.0	-6.2	R元
			国 84.2	-6.4	R2
	(9) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	1 当てはまる	町 60.0		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 62.6	-2.6	R元 68.5
			国 65.9	-5.9	R2 54.8
	(10) 人が困っているときは、進んで助けている	1 当てはまる	町 84.4		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 86.8	-2.4	R元 69.7
			国 88.5	-4.1	R2 80.8
	(11) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	1 当てはまる	町 94.4		H30 95.3
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 95.9	-1.5	R元 92.1
			国 95.9	-1.5	R2 87.7
	(12) 人の役に立つ人間になりたいと思う	1 当てはまる	町 95.6		H30 98.8
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 94.4	1.2	R元 92.1
			国 95.0	0.6	R2 91.8
	(13) 学校に行くのは楽しいと思う	1 当てはまる	町 78.9		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 77.6	1.3	R元
			国 81.1	-2.2	R2
	(14) 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる	1 当てはまる	町 68.9		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 72.2	-3.3	R元
			国 75.2	-6.3	R2
	(15) 自分と違う意見について考えるのは楽しい	1 当てはまる	町 65.6		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 72.2	-6.6	R元
			国 74.7	-9.1	R2
	(16) 友達と協力するのは楽しい	1 当てはまる	町 93.3		H30
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 92.5	0.8	R元
			国 93.3	0.0	R2

- (6) 「自分には、よいところがあると思う」(7)「将来の夢や目標を持っている」(8)「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」(9)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦

している」(10)「人が困っているときは、進んで助けている」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

- (14)「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」(16)「友達と協力するのは楽しい」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

この項目の質問では、肯定的な回答が道・国を下回っている質問が多いです。特別の教科 道徳での「主として人とのかかわりに関すること」「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の学習、全教育活動での道徳教育、生徒指導の在り方等の見直しが必要です。

(ウ) 学習習慣等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
3	(17) 家で計画を立てて勉強しているか(学校の授業の予習や復習を含む)	1 よくしている	町 68.9		H30 42.4
		2 ときどきしている	道 65.2	3.7	R元 47.2
			国 63.5	5.4	R2 46.6
	(18) 授業時間以外に、普段(月～金)どれくらい勉強するか(学習塾・家庭教師との学習・インターネット活用等を含む)	1 3時間以上	町 72.2		H30 61.2
		2 2時間以上、3時間より少ない	道 71.9	0.3	R元 42.1
		3 1時間以上、2時間より少ない	国 75.9	-3.7	R2 67.1
	(19) 土日等、学校が休みの日にどれくらい勉強するか(学習塾・家庭教師との学習・インターネット活用等を含む)	1 4時間以上	町 51.1		H30
		2 3時間以上、4時間より少ない	道 50.7	0.4	R元
		3 2時間以上、3時間より少ない	国 53.5	-2.4	R2 39.7
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	1 教わっていない	町 58.9		H30
			道 47.4	11.5	R元
			国 36.4	22.5	R2 67.2
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている	町 6.7		H30
			道 13.3	-6.6	R元
			国 19.0	-12.3	R2 4.1
	(20) 学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	3 学校の勉強でよくわからなかった内容を教わっている	町 8.9		H30
			道 9.6	-0.7	R元
			国 10.1	-1.2	R2 8.2
	(21) 授業時間以外に、普段(月～金)どれくらい読書するか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	1 2時間以上	町 27.8		H30 25.9
		2 1時間以上、2時間より少ない	道 28.9	-1.1	R元 20.2
		3 30分以上、1時間より少ない	国 28.9	-1.1	R2 30.1
	(22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	1 0～10冊	町 56.7		H30
		2 11～25冊	道 62.3	-5.6	R元
		3 26～100冊	国 65.9	-9.2	R2
	(22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	1 101～200冊	町 43.3		H30
		2 201～500冊	道 37.5	5.8	R元
		3 501冊以上	国 33.9	9.4	R2

	(23)	新聞を読んでいますか	1 ほぼ毎日読んでいる	町 8.9		H30 10.6
			2 週に1～3回程度読んでいる	道 11.8	-2.9	R元 4.5
				国 10.4	-1.5	R2 2.8
	(23)	新聞を読んでいますか	4 ほとんど、または、全く読まない	町 71.1		H30
				道 74.9	-3.8	R元
				国 76.7	-5.6	R2 76.4

○ (17) 「家で計画を立てて勉強しているか（学校の授業の予習や復習を含む）」への「よくしている・ときどきしている」が、道・国を上回りました。

○ (23) 「新聞を読んでいますか」への「ほとんどまたは全く読まない」が、道・国を下回りました。

学校以外での普段の勉強時間が1時間以上と回答した生徒の割合が国を下回りました。家庭での学習習慣を一層定着させる必要があります。復習や予習をすることで、学習効果や学習内容の定着が高まることから、学校と家庭とで連携して習慣づけをすることが大切です。

(エ) 地域や社会に関わる活動の状況等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率(%)	道・国との比較	町経年変化
4	(24)	1 当てはまる	町 44.4		H30 57.6
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 36.1	8.3	R元 65.2
			国 43.7	0.7	R2 56.1
	(25)	1 当てはまる	町 41.1		H30 48.2
		2 どちらかといえば、当てはまる	道 39.4	1.7	R元 33.7
			国 43.8	-2.7	R2 41.2

○ (24) 「今住んでいる地域の行事に参加している」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

今年度も、小学生と同じように地域と深いかかわりが、継続していました。

(オ) ICT機器を活用した学習状況

質問番号	質問内容	回答項目	回答率(%)	道・国との比較	町経年変化
5	(26)	1, 2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	町 4.4		H30 92.0
			道 5.5	-1.1	R元 15.8
			国 7.4	-3.0	R2 34.8
	(26)	1, 2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	町 16.7		H30
			道 21.1	-4.4	R元
			国 26.0	-9.3	R2
	(26)	1, 2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	町 48.9		H30
			道 42.2	6.7	R元
			国 35.5	13.4	R2

	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	1 ほぼ毎日	町	2.2		H30
				道	10.3	-8.1	R元
				国	9.7	-7.5	R2
	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	2 週1回以上	町	11.1		H30
				道	24.1	-13.0	R元
				国	25.1	-14.0	R2
	(27)	学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	3 月1回以上	町	31.1		H30
				道	30.2	0.9	R元
				国	28.2	2.9	R2
	(28)	学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか	1 役に立つと思う 2 どちらかといえば、役に立つと思う	町	95.6		H30
				道	93.4	2.2	R元
				国	93.2	2.4	R2
	(29)	普段(月～金)どれくらいの時間スマートフォンやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使っていますか	1 3時間以上	町	17.8		H30
			2 2時間以上、3時間より少ない	道	20.7	-2.9	R元
			3 1時間以上、2時間より少ない	国	19.5	-1.7	R2 13.7
	(29)	普段(月～金)どれくらいの時間スマートフォンやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使っていますか	6 全く使っていない	町	18.9		H30
				道	19.3	-0.4	R元
				国	19.3	-0.4	R2 24.7
	(30)	家でどれくらい日本語を話していますか	1 いつも話している 2 ほとんどいつも話している	町	94.4		H30
				道	96.2	-1.8	R元
				国	96.3	-1.9	R2

- (26) 「1, 2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」への「ほぼ毎日」「週1回以上」の回答が、道・国を下回りました。
- (27) 「学校でコンピュータ等のICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか」への「ほぼ毎日」「週1回以上」の回答が、道・国を大きく下回りました。
- (28) 「学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

学校は、ICT機器を活用した学習指導の在り方や方法を学び、活用を促進する必要があります。

(カ) 主体的・対話的で深い学びの状況等

質問番号	質問内容	回答項目	回答率(%)	道・国との比較	町経年変化
6	(31)	1 伝えていた	町 75.6		H30
		2 どちらかといえば、伝えていた	道 83.5	-7.9	R元
			国 83.7	-8.1	R2 79.5
	(32)	1 発表していた	町 66.7		H30
		2 どちらかといえば、発表していた	道 61.9	4.8	R元 47.2
			国 62.0	4.7	R2 50.7

	(33)	授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 81.1		H30	
				道 79.9	0.2	R元	
				国 81.0	0.1	R2	
	(34)	授業では、各教科等で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり思いや考えを基に新しいものを創り出したりする活動を行っていた	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 54.4		H30	
				道 55.4	-1.0	R元	
				国 59.5	-5.1	R2	
	(35)	授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていたか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 68.9		H30	
				道 73.2	-4.3	R元	
				国 74.3	-5.4	R2	
	(36)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 93.3		H30	
				道 95.9	-2.6	R元	
				国 96.5	-3.2	R2	98.6
	(37)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 76.7		H30	
				道 76.3	0.4	R元	58.4
				国 77.8	1.1	R2	74.0
	(38)	発見した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 64.4		H30	
				道 73.3	-8.9	R元	
				国 74.6	-10.2	R2	

- (31) 「話し合う活動では、話し合う内容を理解し相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じ、違うところ）を受け止め自分の考えをしっかりと伝えたか」 (34) 「授業では、各教科等で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり思いや考えを基に新しいものを創り出したりする活動を行っていた」 (36) 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができているか」 (38) 「発見した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

学校は、話しあったり、伝えたり、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだり、自分の考えを広げたり、深めたりする学習活動を積極的に進めていくことが必要です。

(キ) 総合的な学習の時間・学級活動・道徳の授業における学習活動や話し合いについて

質問番号	質問内容	回答項目	回答率 (%)	道・国との比較	町経年変化
7	(39)	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 78.9		H30
			道 75.2	3.7	R元 65.2
			国 70.2	8.7	R2 84.7
	(40)	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 73.3		H30
			道 71.6	1.7	R元 57.3
			国 73.9	-0.6	R2 65.3

	(41)	学習活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	1 当てはまる	町 64.4		H30
			2 どちらかといえば、当てはまる	道 66.9	-2.5	R元 51.6
				国 69.8	-5.4	R2 56.2
	(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	1 当てはまる	町 92.2		H30
			2 どちらかといえば、当てはまる	道 86.9	5.3	R元 74.2
				国 86.2	6.0	R2 91.8

○ (39)「総合的な学習の時間では自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」(42)「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。

● (41)「学習活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

学校は、話し合いや調べたことを発表する活動に積極的に取り組んでいます。

(ク) 学習に対する興味・関心や授業の理解度（国語）

質問番号		質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
8	(43)	国語の勉強は好きだ	1 当てはまる	町 70.0		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 61.4	8.6	R元 59.6
				国 60.8	9.2	R2 69.8
	(44)	国語の勉強は大切だ	1 当てはまる	町 96.7		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 90.8	5.9	R元 84.3
				国 91.6	5.1	R2 94.4
	(45)	国語の授業の内容はよくわかる	1 当てはまる	町 88.9		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 81.0	7.9	R元 78.7
				国 80.1	8.8	R2 91.8
	(46)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	1 当てはまる	町 92.2		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 88.0	4.2	R元 82.0
				国 88.7	3.5	R2 86.3
	(47)	国語の授業では言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている	1 当てはまる	町 86.7		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 81.1	5.6	R元
				国 81.8	4.9	R2 79.4
	(48)	国語の授業では目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている	1 当てはまる	町 58.9		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 56.7	2.2	R元 56.2
				国 61.3	-2.4	R2 61.6
	(49)	国語の授業では目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係がわかるように書いたり表現を工夫して書いたりしている	1 当てはまる	町 83.3		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 73.7	9.6	R元
				国 74.6	8.7	R2 69.9

	(50)	国語の授業では目的に応じて文章を読み感想や考えを持ったり自分の考えを広げたりしている	1 当てはまる 2 どちらかといえば、 当てはまる	町 81.1		H30	
				道 76.4	4.7	R元	
				国 77.0	4.1	R2	74.0
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。	1 全ての書く問題で最後まで書こうと努力した	町 75.7		H30	
				道 72.3	3.4	R元	55.1
				国 73.7	2.0	R2	79.1
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。	2 書く問題で回答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった	町 25.6		H30	
				道 24.3	1.3	R元	31.5
				国 23.1	2.5	R2	16.7
	(51)	今回の国語の問題では解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。	3 書く問題は全く解答しなかった	町 3.3		H30	
				道 3.1	0.2	R元	13.5
				国 2.6	0.7	R2	4.2

- (43) 「国語の勉強は好きだ」(44) 「国語の勉強は大切だ」(45) 「国語の授業の内容はよくわかる」(46) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」への肯定的な回答が、道・国をやや上回りました。(47) 「国語の授業では言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている」(49) 「国語の授業では目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係がわかるように書いたり表現を工夫して書いたりしている」(50) 「国語の授業では目的に応じて文章を読み感想や考えを持ったり自分の考えを広げたりしている」への肯定的な回答が、道・国を上回りました。
- (51) 「今回の国語の問題では解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」への「全ての書く問題で最後まで書こうと努力した」が道・国を上回りました。

質問の多くに対して肯定的な回答が多く、この傾向を持続することが大切です。

(ケ) 学習に対する興味・関心や授業の理解度（数学）

質問番号	質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
9	(52)	数学の勉強は好きだ	町 57.8		H30 37.7
			道 55.4	2.4	R元 43.8
			国 59.1	-1.3	R2 50.4
	(53)	数学の勉強は大切だ	町 73.3		H30 76.4
			道 82.8	-9.5	R元 82.0
			国 84.1	-10.8	R2 69.9
	(54)	数学の授業の内容はよくわかる	町 71.1		H30 67.0
			道 72.4	-1.3	R元 76.4
			国 74.6	-3.5	R2 54.8
	(55)	学数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	町 66.7		H30 64.7
			道 72.5	-5.8	R元 76.4
			国 74.6	-7.9	R2 65.3

	(56)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 51.1		H30	29.2
				道 45.2	5.9	R元	
				国 50.6	0.5	R2	
	(57)	数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考える	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる	町 71.1		H30	64.4
				道 73.3	-2.2	R元	
				国 75.8	-4.7	R2	
	(58)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしているか	1 そうしている 2 どちらかといえば、そうしている	町 80.0		H30	61.6
				道 83.7	-3.7	R元	
				国 83.5	-3.5	R2	
	(59)	数学の授業で問題の解き方や考えが分かるようにノートに書いていますか	1 書いている 2 どちらかといえば、書いている	町 91.1		H30	58.9
				道 87.9	3.2	R元	
				国 86.6	4.5	R2	
	(60)	今回の数学の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	1 全ての書く問題で最後まで書くことと努力した	町 38.9		H30	43.5
				道 54.5	-15.6	R元	39.3
				国 57.8	-18.9	R2	48.6
	(60)	今回の数学の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	2 書く問題で回答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった	町 53.3		H30	0.0
				道 39.3	14.0	R元	52.8
				国 36.6	16.7	R2	40.3
	(60)	今回の数学の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	3 書く問題は全く解答しなかった	町 6.7		H30	0.0
				道 5.8	0.9	R元	0.0
				国 5.2	1.5	R2	11.1

- (53)「数学の勉強は好きだ」(52)「数学の勉強は好きだ」(54)「数学の授業の内容はよくわかる」(55)「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」(58)「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしているか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。
- (60)「今回の数学の問題では言葉や数、式を使ってわけや求め方等を書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか」への「全ての書く問題で最後まで回答を校と努力した」が、道・国を大きく下回りました。

数学に対する興味・関心、授業の理解度への質問に対しての肯定的回答が、道・国を下回る質問が多かったことから、数学への生徒の苦手意識があります。ICTを活用した授業改善や小学校算数との系統性や子ども達の学習履歴を確認する必要があります。

(コ) 学習に対する興味・関心や授業の理解度（英語）

質問番号	質問内容	回答項目	回答率(%)	道・国との比較	町経年変化
10 (61)	英語の勉強は好きだ	1 当てはまる	町 52.2		H30
		2 どちらかといえば、	道 53.9	-1.7	R元 44.9
		当てはまる	国 56.7	-4.5	R2 35.6

	(62)	1, 2年生の時に受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていたか	1 当てはまる	町 51.1		H30
			2 どちらかといえば、当てはまる	道 64.0	-12.9	R元
				国 67.7	-16.6	R2 50.7
	(63)	これまで学校の授業以外で英語を使う機会があったか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙やメールを書く、英語のホームページを見る、英会話教室に通う等）	1 当てはまる	町 28.9		H30
			2 どちらかといえば、当てはまる	道 29.2	-0.3	R元
				国 34.8	-5.9	R2 16.4

- (61)「英語の勉強は好きだ」(62)「1, 2年生の時に受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていたか」(63)「これまで、学校の授業以外で英語を使う機会があったか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙やメールを書く、英語のホームページを見る、英会話教室に通う等）」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

全ての質問で肯定的な回答が道・国を下回りました。この要因を分析し、改善を図る必要があります。

(サ) 令和2年の4から5月頃（新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた時期）について

質問番号		質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
11	(64)	勉強について不安を感じた	1 当てはまる	町 56.7		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 62.3	-5.6	R元
			国 62.8	-6.1	R2	
	(65)	計画的に学習を続けることができたか	1 当てはまる	町 35.6		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 34.2	1.4	R元
			国 37.6	-2.0	R2	
	(66)	規則正しい生活を送っていたか	1 当てはまる	町 42.2		H30
			2 どちらかといえば、 当てはまる	道 45.2	-3.0	R元
			国 48.4	-6.2	R2	
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	1 先生に聞いた	町 7.8		H30
			道 5.9	1.9	R元	
			国 7.2	0.6	R2	
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	2 友達に聞いた	町 38.9		H30
			道 45.0	-6.1	R元	
			国 43.9	-5.0	R2	
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	3 家族に聞いた	町 36.7		H30
			道 41.1	-4.4	R元	
			国 44.3	-7.6	R2	
(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	4 先生、友達、家族以外のの人に聞いた	町 11.1		H30	
		道 9.7	1.4	R元		
		国 12.3	-1.2	R2		

	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	5 自分で調べた	町 61.1		H30
				道 66.4	-5.3	R元
				国 61.6	-0.5	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	6 分からないことをそのままにした	町 12.2		H30
				道 11.7	0.5	R元
				国 14.3	-2.1	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	7 分からなかったことがなかった	町 8.9		H30
				道 5.9	3.0	R元
				国 6.3	2.6	R2
	(67)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校の休校期間中、学校からの課題で分からないことがあった時、どのようにしていたか	8 思い出せない	町 8.9		H30
				道 7.5	1.4	R元
				国 6.9	2.0	R2

- (64)「勉強について不安を感じた」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。
- (65)「計画的に学習を続けることができたか」への肯定的な回答が、国を下回りました。
- (66)「規則正しい生活を送っていたか」への肯定的な回答が、道・国を下回りました。

休校期間中、生徒が計画的に学習を続け、規則正しい生活を送れるような習慣を身につけさせる指導が必要です。

(シ) 各教科の解答時間の適切性（国語・算数）

質問番号		質問内容	回答項目	回答率（％）	道・国との比較	町経年変化
12	(68)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 国語（４５分）	１ 時間が余った	町82.2		H30
			２ ちょうどよかった	道78.8	3.4	R元
				国75.3	6.9	R2 90.3
	(68)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 国語（４５分）	３ やや足りなかった	町17.8		H30
			４ 全く足りなかった	道20.9	-3.1	R元
				国24.5	-6.9	R2 2.8
	(69)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 数学（４５分）	１ 時間が余った	町85.6		H30
			２ ちょうどよかった	道81.8	3.8	R元
				国80.5	5.6	R2 91.6
	(69)	調査問題の解答時間は十分 でしたか 数学（４５分）	３ やや足りなかった	町13.3		H30
			４ 全く足りなかった	道18.0	-4.7	R元
				国19.2	-5.9	R2 2.0

- (68)(69)「調査問題の解答時間は十分でしたか」への「時間が余った・ちょうどよかった」が、道・国を上回りました。

調査問題の解答時間は、「余った・ちょうどよかった」との回答が多いことから、余った時間を利用して見直しをする習慣を定着させる必要があります。

7. 学力に関する改善方策

(1) これまでの取組

- ① 平成21年度から斜里町教育委員会採用の教育活動支援講師を配置するとともに、全校を対象にした学校図書整備事業や公開研究会助成事業などを行ってきています。
- ② 平成24年度からは上記に加えて小学校の「35 人学級」など新たな施策を行ってしています。
- ③ 平成25年度には、全国学力・学習状況調査の結果をふまえて、学力向上推進計画の策定、校長会及び教頭会による学力向上宣言、学力向上啓発チラシの町民配布、教職員による学力向上推進委員会の設置と校内委員会の設置などを行いました。
- ④ 平成26年度は、引き続き、各学校の学力向上と学力向上推進委員会の活動を連動させる取組を推進・強化してきました。長期休業中のサポートとしての全小学校参加による「朝活事業」、学校ごとの学習サポート事業、公開研究会の開催等による学校力向上事業、学習習慣や読書習慣の改善・定着に向けた事業の推進や啓発活動などを進めています。
- ⑤ 平成27年度は、中学校の「35 人学級」や学校巡回司書の配置など新たな施策を行っていません。
 - ・平成28年度当初の小規模校3校の統合に向けて、スムーズな接続をめざし、統合先の学校で交流学习を進めました。
 - ・新たに教育課程検討委員会を設置し、土曜授業と小中連携・一貫教育について、調査研究に取り組みました。
 - ・学力向上推進委員会や教育課程検討委員会と連携して、教員、保護者、町民向けの講演会を実施しました。
- ⑥ 平成28年度は、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年5日(回)の土曜授業と小中(小)連携を試行として取り組み、平成29年度の実施に向けて調査・研究を進めました。
 - ・平成28年4月より旧川上小学校の児童は斜里小学校へ、旧朱円小学校・旧以久科小学校の児童は朝日小学校への通学となり、統合先で新たな学校生活を開始しています。
 - ・平成28年4月より斜里町立ウトロ小学校とウトロ中学校は、小中一貫教育の義務教育学校・斜里町立知床ウトロ学校としてスタートしています。
 - ・平成28年度は、平成27年度までの学力向上推進委員会を教育課程検討委員会(学力向上部会)に再編し、講演会や視察研修、児童生徒の学習や生活に関する実態調査等に取り組みました。
- ⑦ 平成29年度は、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年10日(回)の土曜授業と小中連携に取り組み、平成30年度の実施に向けて調査・研究を進めました。
- ⑧ 平成30年度は、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年8日(回)の土曜授業と小中連携に取り組みとともに、平成31年度の実施に向けての調査・研究、斜里町学力向上推進計画の見直しと改善に取り組みました。
- ⑨ 平成31(令和元)年度は、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年8日(回)の土曜授業と小中連携に取り組みとともに、学力向上に対する各学校の取り組みを交流した後、町全体で共通してできる取り組みを検討し、さらに、斜里町学力向上推進計画の見直しと改善に取り組みました。また、北海道教育委員会が3か年計画で進める、「授業改善推進チーム活用事業」を活用し、町内の小学校2校での授業改善を図り、確かな学

力の定着に取り組んできました。

- ⑩ 令和2年度は、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年8日（回）程度の土曜授業を実施するとともに、家庭学習定着を図るための家庭学習ノートの掲示やICTを活用した外国語授業公開と研究協議など、町全体で共通してできることを実施しました。
- ⑪ 令和3年度は、国のGIGAスクール構想の推進に応じて、全ての児童生徒が一人一台端末を使い、より効果的な学習ができるように環境整備を図りました。さらに、教員の研修会を複数回開催して活用方法の習熟を図りました。また、各学校と教育課程検討委員会とが連携し、年8日（回）程度の土曜授業を実施するとともに、家庭学習ノートの掲示の継続、全国学力学習状況調査問題で正答率の低かった問題の要因と改善策の交流、プログラミング教育の調査研究等に取り組みました。

(2) 現状と今後の取組

- ① 北海道教育委員会の学力向上の施策と斜里町教育員会の施策・取組を引き続き連動させていきます。
- ② 各学校で学力向上を学校経営の重点に位置付け、全国学力・学習状況調査の結果を組織的に分析し、立案した計画(学校改善プラン・学力向上)を全教職員での共有化に努めています。また、計画に基づく校内研修等を充実させ、包括的な学校力向上に努めることで、児童生徒一人ひとりの学力向上に向けた日常的な取組が充実・拡充すると考えます。
- ③ 教育委員会と学校は、学力向上推進計画に基づく取組を推進するとともに、児童生徒質問紙からの児童生徒の学習や生活に関する実態調査結果の経年比較等に取り組んでいます。併せて、斜里町の全国学力・学習状況調査の結果を分析するとともに、その情報を各学校及び保護者・町民に提供していきます。
- ④ 教育課程検討委員会は、家庭学習の習慣化を図るために家庭学習の手引きを作成しました。また、他の子どもたちへのお手本となる家庭学習ノートを集め、各校で持ち回りしながら掲示する工夫をしています。
- ⑤ 教育委員会は、平成29年度当初から知床ウトロ学校に、平成30年度からは斜里小学校、朝日小学校、斜里中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進しています。
- ⑥ 土曜授業、斜里中学校区の小中(小小)連携について、土曜授業は、平成28年度の教育課程検討委員会の調査・研究の結果を踏まえ、平成29年度から本格実施しております。また、斜里中学校区の小中(小小)連携は、平成29年度に斜里中学校区学校間連携協議会が設立され、学習指導や生徒指導での連携のあり方やめざす子ども像についての協議が行われてきました。これら一連の取組を通して、斜里町全体の確かな学力の向上に寄与する教育環境の整備を進めます。
- ⑦ 全国・学力学習状況調査については、令和3年度は、国語、算数・数学が対象教科でした。中学校では、新学習指導要領の全面実施に伴う教育課程が編成・実施されています。

斜里町教育委員会では、これら学力向上に関連する取組をさらに拡充・強化するとともに、各学校への支援と地域への情報発信をとおして、学校・家庭・地域・教育委員会の4者が一体となって進める環境づくりに努めてまいります。

8. 留意事項

- (1) 調査の目的や調査結果が、学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であること等を踏まえて取り進めます。
- (2) 調査結果は斜里町と全道・全国との比較検討のみに使用し、他市町村との比較検討は行いません。
- (3) 学校ごとの調査結果は、小規模校における個人情報への配慮が必要なこと、規模が大きく異なる学校間で数値の意味合いが異なること、学校間の序列化意識につながる恐れがあることなどから公表しません。

(斜里町教育委員会 生涯学習課)